

南アメリカ・オセアニア 州

名前

問1 南アメリカ大陸に位置するチリは、日本にとって重要な鉱産資源の供給国である。次のうち、チリから日本への輸出品として最も代表的な鉱産資源はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 鉄鉱石
2. 銅鉱
3. 原油
4. 石炭

問2 南アメリカ大陸に位置するアルゼンチンの地理的特徴と産業について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)

1. 東南アジアの半島部に位置し、熱帯の気候と大規模な河川による灌漑を利用して米の生産を行い、日本への輸出も積極的に行っている。
2. 世界最大の国土面積を持ち、寒冷な気候に適したライ麦の生産や、天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の柱となっている。
3. アフリカ大陸中央部の赤道付近に位置し、広大な熱帯雨林と豊富な地下資源を持ち、銅などの鉱物資源の輸出が産業の中心である。
4. 約280万平方キロメートルの広大な国土を有し、とうもろこしの生産や豚の飼育などの農牧業が盛んで、日本にも多くの農産物を輸出している。

問3 南アメリカ大陸の東南部、アルゼンチンからウルグアイにかけて広がる、ラブラタ川流域の広大な温帯草原を何と呼びますか。大規模な牛の放牧や小麦の栽培が行われている地域の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

1. パンパ
2. セルバ
3. カンボ
4. リャン

問4 近年のオーストラリアの産業と貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

1. アジア諸国との経済的な結びつきを弱めるため、イギリスを中心としたヨーロッパ諸国への鉄鋼製品の輸出を強化している。
2. 国内での鉄鉱石の産出量が減少したため、現在は中国などの近隣諸国から原料を輸入して加工する工業が中心となっている。
3. かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。
4. 北米自由貿易協定（NAFTA）に加盟したことで、最大の輸出相手国であるアメリカ合衆国へ原油を輸出する割合が増加した。

問5 オーストラリアの輸出相手国の変遷について、1960年と2019年の状況を比較した説明として、適切な背景を含むものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 中国の工業化に伴う資源需要の高まりを受け、2019年の輸出額は1960年と比べ大幅に増加し、中国が最大の輸出先となった。
2. イギリスがEUから離脱した影響により、オーストラリアの輸出相手は中国から再びイギリスへと回帰する傾向にある。
3. 日本国内の資源需要が2019年にかけてさらに高まったため、日本向けの輸出割合は1960年よりも大幅に上昇した。
4. 環境保護政策の影響で石炭などの輸出を制限したため、2019年の総輸出額は1960年の水準を下回ることとなった。

問6 南アメリカ大陸の赤道付近に位置する二つの都市の気候について考えます。標高の低いアマゾン盆地に位置するマナオスでは、一年を通して平均気温が25度を超える熱帯の気候を示します。これに対し、同じく赤道付近の低緯度地域に位置するコロンビアの首都ボゴタでは、一年を通じて気温が14度前後の涼しい状態で安定しています。このように、低緯度地域にありながら年間を通じて気温が低く保たれる理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)

1. 季節風（モンスーン）の影響により、高緯度からの冷たい空気が流れ込み続けるから。
2. 年間を通じて降水量が極めて多く、雨によって地表の熱が奪われるから。
3. 寒流の影響を強く受け、冷たい海風が一年中吹き込むから。
4. 標高が高いため、低地よりも気温が低くなるから。

問7 アマゾン川流域における農業において、マホガニーなどの樹木とカカオやバナナなどの農作物を同じ場所で組み合わせて育てる取り組みについての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)

1. 化学肥料や農薬を大量に使用して森林を全面的に開き、短期間で牧草地や大豆畑へと変更する。
2. 日かげを作る樹木と農作物を混ぜて育てることで、単一作物への特化を防ぎ、土壌流失や病害虫の被害を抑えられる。
3. 森林の樹木を全て伐採して焼き払い、その灰を肥料とすることで数年ごとに耕作地を移動しながら栽培する。
4. 一種類の農作物に特化した大規模な栽培を行うことで、特定の作物の生産効率を飛躍的に向上させられる。

問8 1965年から2015年にかけてのオーストラリアの輸出統計では、輸出総額が約30億ドルから約1880億ドルへと大幅に増加しました。この期間における輸出品目の構成の変化について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 輸出総額は大幅に増加したが、輸出全体に占める羊毛の割合は一貫して最も高い数値を維持している。
2. 輸出総額が拡大する中で、羊毛や小麦などの農産物中心の構成から、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源中心の構成へと変化した。
3. 輸出総額が拡大する中で、鉄鉱石などの鉱産資源中心の構成から、羊毛や小麦などの農産物中心の構成へと変化した。
4. 輸出総額は大幅に増加したが、石炭の需要が世界的に低迷したため、鉱産資源の輸出割合は1965年よりも低下した。

問9 オーストラリアの産業構造と貿易の特徴について述べた文として、背景や実態を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 広大な国土を活かした大規模な農業が全輸出額の8割以上を占めており、鉱産資源の輸出は減少傾向にある。
2. 鉄鉱石や石炭、液化天然ガスといった豊富な地下資源を主要な輸出品とし、アジアを中心とする諸国の工業化を支えている。
3. 国民所得水準が非常に高いため、現在は地下資源の輸出よりも、フランスのような高度なブランド農産物の輸出が中心となっている。
4. フィリピンなどの東南アジア諸国と同様に、豊富な労働力を背景とした衣類などの軽工業品の輸出が、鉄鉱石の輸出額を上回っている。

問10 世界の農産物生産において、ブラジルが世界最大の生産量を誇り、次いでインド、中国の順に多く生産されている作物があります。この作物が、近年エネルギー分野で注目されている理由として正しい説明を選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

1. 光ファイバーの被覆材として、情報通信技術の発展に不可欠なため
2. 発酵・蒸留させることで、自動車などのバイオ燃料の原料になるため
3. 家畜の飼料としての需要が急増し、肉類の生産コストを抑えるため
4. 砂漠化が進む地域において、乾燥に強い食糧資源として期待されるため

問11 アルゼンチンのラブラタ川流域に広がる温帯草原「パンパ」の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

1. 熱帯雨林の気候を利用して、輸出用の天然ゴムやカカオのプランテーション開発が進んでいる。
2. 年間を通じて乾燥が激しいため、オアシス周辺でわずかに綿花やブドウが栽培される程度である。
3. 降水量の多い東部では小麦の栽培が盛んで、降水量の少ない西部では牛の放牧が中心となっている。
4. アンデス山脈のふもとに位置するため、傾斜地を利用したリャマやアルパカの飼育が中心となっている。